

## 磁 場 中 成 形 油 圧 プ レ ス

### 特 徴

- ①当社の磁場中成形油圧プレスは、物性研究用として基本的に設計しております。  
磁性粉末材料に磁氣的配向性を付与した状態において油圧プレスにより固化成形し強力な磁性材料を製造します。また種々の物性測定装置の磁界発生装置として用いることができます。
- ②小型で高磁界が出せるマグネットになっており磁極間隔は可変方式で磁界均一度も広く、可変機構のネジあそびが少なく剛性も強く製作してありますので、発生磁界によるGapの変動も少なくなっております。
- ③磁場中プレスを基本的に大別しまして、磁場方向が【横の場合】と【縦の場合】があり、それぞれに、磁場方向に対して【平行プレス】と【直交プレス】があります。  
【平行プレス】と【直交プレス】は、以前は別々のマグネットを必要としておりましたが、当社の場合はオプションにより、1台で両方を兼ねることもできます。
- ④磁場と平行プレスの場合、今までの磁場中プレスはポールを油圧シリンダーにて押しポールにて金型を加圧する形式になっておりましたが、この場合ポールGapが変動し発生磁界を一定に保つことができません。また、金型を押す圧力もポールの引き合う力が加算されるために正確にできませんでした。そのため当社ではポールの中心に20φ孔をあけ、その孔より20φの非磁性鋼ロッドを油圧シリンダーにて押し出し金型を加圧する方式をとっております。ポールはハンドルにて必要なGapに可変後固定できますので、プレスによる発生磁界の変動はなく、プレスの圧力も発生磁界の影響を受けません。
- ⑤将来的に磁場中プレスだけでなく、オプションで振動試料型磁力計を取り付けて粉体やプレス後の試料の磁化測定も行うことができます。
- ⑥BHループトレーサーなどの種々の物性測定装置の磁界発生装置として用いることができるようになっております。
- ⑦電磁石部分も、発生磁界・Gapなど、必要な目的に合わせて最適な電磁石も製作可能です。
- ⑧金型は基本的には当社では製作しておらずユーザー様にて種々の試験目的に合わせて製作していただくようになります。

### システム構成参考写真



ホームページ アドレス <http://www.tamakawa.co.jp>  
E-mail アドレス [catalogs@tamakawa.co.jp](mailto:catalogs@tamakawa.co.jp)